

バドミントン部・同好会 安全対策表

(2021/4/22 改定)

以下の表は、各項目に対する安全対策および事故発生時の対応をまとめたものである。本クラブ所属部員は、必ず安全対策を実施し、事故等が発生しないように注意する。また、万一、事故が発生した場合には、表に示されたように正しい対応をしなければならない。

項目	安全対策	事故発生時の対応
緊急連絡体制の管理	① 緊急連絡網を作成し、練習中及び試合などにおいて必ず所定の位置に配置するか、または顧問教員及び部長又はマネージャーが持参すること。	顧問教員及びクラブ部員は、事故発生時においてケガ人の処置をした後、緊急連絡先に連絡すること。
部員の健康管理	① 練習前に必ず自分の体調を把握し、体調の思わしくない時は、活動を行わないようにする。 ② 練習前に体温を計測し、37.5℃以上の熱がある場合は練習に参加させない。 ③ 練習中において急に体調が悪くなる場合があるので、必ず複数で練習し、常に相互に確認すること。 ④ 練習が終了して、練習場所を出る時も必ず複数で行動すること。練習場所に一人で残ることがないようにする。また、帰宅時なるべく複数で行動すること。	人命第一を考え、状況を的確に判断、救急車の手配をする。また、直ちに顧問教員あるいは看護師（又は学生係）に連絡をする。
練習中における安全管理	① ラケットにヒビなどが入っていないか点検を行うこと。 ② ノック中にシャトルが目に飛び込まないようにノッカーは、シャトルノック方向をノッカーの正面に送らないこと。また、選手はノッカーに対してシャトルを打ち出さないこと。 ③ 準備運動は必ず実施すること。準備運動を行わない者は、コートに入らないこと。 ④ 適切な休息を入れるなど体調に気を配ること。特に夏季はこまめな水分補給など熱中症対策に留意すること。 ⑤ 顧問とコーチの指導に従うこと。	状況を的確に判断し、異常がある場合は直ちに顧問教員に連絡する。

項目	安全対策	事故発生時の対応
<b>試合における安全管理</b>	① 試合前に救急箱の中をチェックし、必要なものがそろっているか点検すること。 ② 部として集団で試合会場へ移動する際は、必ず公共交通機関または借り上げバスを使用しに行くこと。その際、事情により顧問教員が引率できない場合は責任者を決め、万が一の時には顧問教員と連絡が取れる体制を取るようしておく。 ③ 試合は、特別な場合を除き顧問教員またはコーチの付き添いなしに行ってはいけない。	必要なものがない場合は必ず補充する。 試合中に事故が発生した場合は、顧問教員が中心となって必要な対応を行う。
<b>練習場所等の施設の安全管理</b>	① 体育館床の板が剥がれていれば顧問教員に連絡すること。 ② ネット張りのポールは重量物であるから、足や手を挟まないよう十分に気をつけて運搬・設置すること。	状況を的確に判断し、異常がある場合は直ちに顧問教員に連絡する。
<b>外部（応援者を含む）の安全対策</b>  <b>* 対応クラブのみ</b>	別途顧問から周知する	状況を的確に判断し、異常がある場合は直ちに顧問教員に連絡する。
<b>その他</b>	① 部長またはマネージャーは、クラブ活動日程・練習内容を事前に顧問教員に連絡すること。 ② 事故時には全員で応急体制に当たること。 ③ 部員及びマネージャーは、救命救急法に関する知識を身につけておくこと。 ④ 事故時の連絡体制のため、学生の緊急連絡先を常備しておくこと。	状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。

## 1. 共通の対策

- 活動前に検温を行い、発熱がある場合(体温が37.5℃以上である場合、または平熱より1℃以上高い場合)は活動に参加できない。発熱がなくても咳など風邪の様な症状がある場合、倦怠感がある場合、息苦しさなどがある場合、嗅覚異常など身体に異常を感じる場合、その他少しでも体調が優れないときも活動に参加できない。
- 熱中症の心配のない活動や運動を伴わない活動においては、活動時にマスクを着用する。マスクを着用しない場合は、近距離での会話を控える(近距離での大声は徹底的に避ける)。
- 石けんを用いた手洗いやアルコール等の消毒用品を使用して、手指消毒を行う。
- 人との間隔をできるだけ2m(最低1m)空けるように努める。
- 使用する用具等については使用前に消毒を行うとともに、不必要な使い回しをしない。
- マスク、タオル、給水ボトル(飲料)などは自分専用のものを用意し、共用しない。
- 体育館など屋内で実施する活動については、その場所のドアを広く開け、こまめな換気を行う。ドアノブなど、学生が頻繁に触れる箇所は担当者を決め、定期的に消毒を行う。
- 部室や倉庫はなるべく短時間の利用とする。部室が活動場所となるクラブ・同好会は、人数に応じて教室の使用なども検討する。

## 2. 個別の活動内容にあわせた対策

- 休憩中や周囲の人と会話をする際には、対面を避けて同様の距離をとる。
- ランニング・ウォーキングの時など意識的に通常時以上の距離をとるようにする。
- 飛沫拡散防止のため運動・スポーツ中に大声は出さない。
- 呼吸困難や熱中症になるリスクがあるため、マスクを着用しての運動は行わない。

# バドミントン部・同好会 安全点検リスト

練習実施日 202\_\_年\_\_月\_\_日

記入者\_\_\_\_\_

## 一般的事項

- 救急箱は用意してあるか
- 部員の体調を確認したか（検温を行ったか）
- 練習前に部員の体温を計測したか
- 準備運動はしっかりと行ったか
- 活動をするのにふさわしい服装をしているか

## 施設・用具関係

- 練習前に使用する施設の安全確認を行ったか
- 使用する道具（ラケット、ポール等）に異常がないことを確認したか
- 練習場（体育館）の床に破損がないことを確認したか

このリストの内容をシートにしたものを活動日誌のファイルにバインドし、練習終了までにチェックシートに記入し、練習終了後に顧問またはコーチが確認することとする。